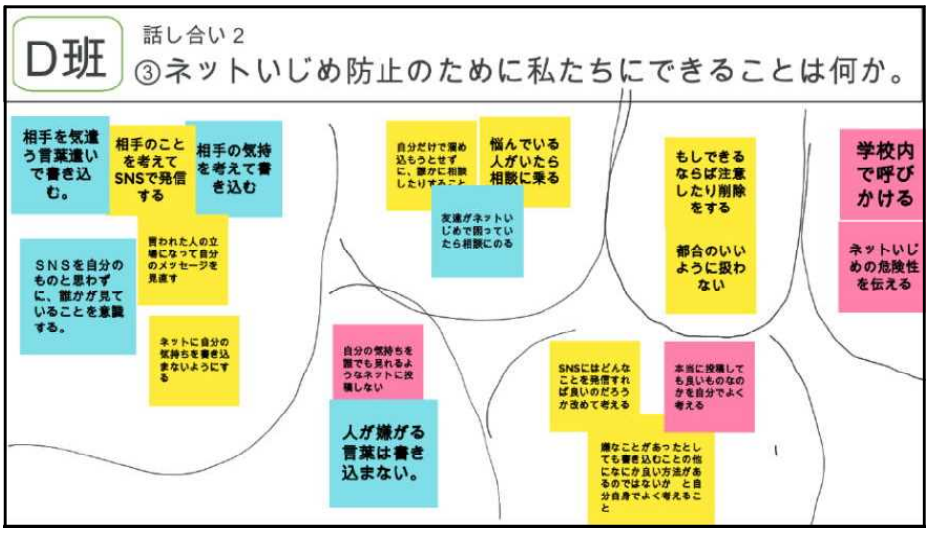
東　輝

みどり市立大間々東中学校
学　校　通　信
令和５年１月３１日　第２３号

みどり市いじめ防止子ども会議

　様々な形で行われているいじめ防止活動の一環として、令和５年１月２０日（金）、笠懸公民館の交流ホールにおいて、みどり市いじめ防止子ども会議が行われました。
　今年度のテーマは「ＳＮＳにおける発信の仕方について考え、ネットいじめを防止しよう」というものでしたが、本校の代表として、生徒会本部役員の新井舞桜さんと関川瑠那さんが参加しました。

　具体的な内容として、ＳＮＳやメッセージアプリのプロフィール欄に「読む人が読めばそれとなくわかる」悪口を書き込む例が増えており、そういったケースをどう受け止め、どのように考えればいいのかといったことについて話し合いました。
　タブレットを使っての会議でしたが、本校の二人が所属していた班の話合いの一端を紹介します。



　また、各校の取組を２ページずつに取りまとめたものが冊子として配られますが、本校のページには新たにつくられたシンボルマークの紹介のほか、以下のとおり生徒有志によるあいさつ運動や「ハッピーポスト」という取組も掲載しました。

【あいさつ運動】
　月に一度、地域の方々と一緒にあいさつ運動を行っていましたが、生徒会本部の「あいさつ運動を活性化したい」という考えから、有志によるあいさつ運動を行いました。
　３日間で100人を超える生徒が参加し、朝から元気なあいさつが響き渡っていました。コロナ禍の今、色々な制限がある中ですが、新たな取組に挑戦しています。今後も更なる改良を重ねながら、あいさつ運動を活発化していきたいと考えています。

※１月３１日～２月２日にかけて、２回目のあいさつ運動を行っています。

【ハッピーポスト】
　各フロアにハッピーポストを設置し、そこには全校生徒から「〇〇さんにこんなことをしてもらって嬉しかった」、「こんなことがあって幸せだった」などのハッピーなお便りを投函してもらい、それを定期的に給食時に、生徒会本部役員が全校に向けて放送しました。

＊これからも、いじめを生徒自身で減らしていける大東中生でいてほしいと願っています。